

事務事業名	都市下水路整備事業	整理番号	25402-020
所 管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 42年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	下水道事業関係県費助成事務取扱い要領	
基本計画における位置付け	基本政策	2-5 防災体制の充実	関連政策	2-4-3 良好な生活環境の確保
	政 策	2-5-4 環境共生型の治山・治水	政策	3-2-1 居住環境の整備・向上

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	都市部の雨水、排水の排除
対 象 (誰・何を)	市街地の公共下水道基本計画区域で下水道事業認可区域外で特に浸水被害が常習的に発生する地区の住民
手 段 (どのようなやり方で)	護岸工、水路工、護床工による河川改修整備。
成 果 (どのような状態にしたいか)	住宅地の災害防止及び住環境、衛生環境が改善される。
事務事業の背景・住民の意向	大雨時の浸水の発生、晴天の続いた時の悪臭発生で整備要望が多い。
見直し改善の経過	

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円) 
平成16年度	2河川 延長L=120.5m L=131.7m	
平成17年度	2河川 延長L=100.4m L=112.8m	
平成18年度	2河川 延長L=162.8m L=116.7m	

**評価指標**

整備延長(m)	整備箇所(箇所)	1m当り事業費(千円)

**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	未整備河川は未だあるが厳しい財源の中では現状程度の事業費ベースで継続実施していきたい。	継続
	有効性		
効率性			
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	計画的な事業の実施に努められたい。	継続

**改革プラン**

平成19年度からの対応	緊急に整備し 浸水箇所の減少を図るためにコストが安く施工性のよい二次製品等の使用を積極的にしコスト縮減及び住民要望にこたえていく。
平成20年度以降の対応	同上
改革により予想される成果	大雨時の住宅浸水の減少。